

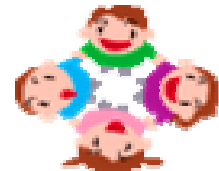


# ひ ゆ ー ま ん ら い つ

第57号 平成17(2005)年8月

## 出逢いを大切に…

### みんなで考えよう同和問題



(8月9日開催 市民向け学習講座第3回「誰でも人権談話室」から)

みなさんは、今までどんな出逢いをしてこられたでしょう。家族との出逢い、仲間との出逢い…。人生における「喜び」の瞬間には、人と人との出逢いがあるのではないのでしょうか。

さて、私たちの同和問題との出逢いはどうだったでしょう。また、この講座での出逢いはどうだったでしょう。

#### ある三人の母の会話から…

知的障がいのある子を持つ母Aさん、肢体不自由の子を持つ母Bさん、同和地区出身の母Cさんは、日頃から何でも言い合える仲の良い三人ですが、ある日、本音をぶつけ合う中で、こんな会話がありました。

A→B「あなたの子は、いいわね。みんなと一緒に勉強ができて。」

B→A「あなたの子は、いいわね。みんなと一緒に運動ができて。」

AB→C「あなたは、いいわね。黙っていたらわからない(部落差別を受けることはない)から。」

C→AB「あなた達は、いいわよ。孫子の代まで差別されることはないんだから。」

三人はお互いをうらやみ、ねたんでいました。しかし、やがてそれぞれが自分自身の差別心(「違い」を見つけて、その対象を自分より下に置くことで自己満足や安心を得たり、自分の立場を守ったり、不満を解消したり…)に気づきます。そして三人は、お互いの思い—わが子を愛してやまない心は、みな同じこと—に共感しお互いを認め合い、この「出逢い」に感謝して、差別をなくしていくため共に歩む決心をします。

#### 幸せになりたい気持ちは、誰でも同じ

「その人の立場に立って考えてみる」と言います。しかし、それが自分に悪影響を及ぼすかもしれないという状況になると、「自分が〇〇じゃなくてよかった」と、急に他人事になり、自分の中から排除することで安心してしまいます。

私たちは、最愛の人やわが子のためならどんなことでもできます。それは、世界中どこでも誰でも同じこと…幸せな生活を求める気持ちは、どこに住んでいたらって同じだと思います。人は、生まれながらにして誰もが幸せになる権利を持っています。人が人を差別し、幸せになる権利を奪うことがどうしてできるのでしょうか。

「差別をしないように」という単なる心がけにとどまるのではなく、現存する差別をなくす取り組みを進めていくために、私たちは、人と人との“出逢い”を大切にしたいと思います。

#### 第4回 「誰でも人権談話室」は…

9月13日(火) 19:00~21:00

「住みなれた地域で安心して暮らすために」  
吉野 立さん(まちでくらす会・地域交流センター 田園所長)

福本真理子さん(鳥取聾学校ひまわり分校教頭)をお迎えして開催します。



人権情報センターでは、随時新刊等の書籍を購入しています。その中からいくつかご紹介します。

- |   |  |
|---|--|
| <p>□子どもが育つ魔法の言葉<br/>2005年 PHP 株式会社・その他 1,500円</p> <p>□子どもが輝く「魔法の掃除」<br/>2005年 三五館 平田治 1,400円</p> <p>□子どもが一週間で変わる親の「この一言」<br/>2003年 三笠書房 波多野ミキ 1,300円</p> <p>□Q&amp;A 子ども虐待問題を知るための基礎知識<br/>2004年 明石書店 小木曾宏 2,000円</p> <p>□日本歴史の中の被差別民<br/>2004年 新人物往来社<br/>奈良県人権・部落解放研究所 2,000円</p> | <p>□ダーリンは外国人1・2<br/>2005年 ディアファクトリー<br/>小栗左多里 880円・950円</p> <p>□必携あなたでもできる企業の人権研修ハンドブック<br/>2005年 解放出版社<br/>大阪同和・人権問題企業連絡会 1,200円</p> <p>□子どもに障害をどう説明するか<br/>2005年 ブレーン出版<br/>相川恵子・仁平義明 1,600円</p> <p>□それでもやっぱりがんばらない<br/>2005年 集英社 鎌田實 1,600円</p> |
|---|--|



### 「めばえの朝」

企画：北九州市/北九州市教育委員会  
/北九州市人権問題啓発協議会  
製作：東映㈱  
対象：小学・中学・高校・一般



「人権の尊重は大事なこと」は、誰もがわかっていることのように思われますが、周りの人や自分の言動を振り返ったらどうでしょう。自己中心的な考え方や固定観念から、相手を認めようとしないこともあるのではないのでしょうか。

この作品は、新しい生命の誕生を控えた家族とその周りの人々とのふれあいや葛藤を通して、「相手を理解し尊重すること」、「自分の問題として行動すること」の大切さを描いています。(2003年・アニメ・41分)

「今でも部落差別はあるのですか？  
マイナスイメージの刷り込み」  
企画：部落解放・人権研究所/大阪府/  
大阪市/堺市  
製作：㈱元気な事務所  
対象：一般

同和問題をよく知らないのになぜか気乗りしないし、避けたいと思っ  
てしまった。前向きに取り組めないのはなぜ？何となくのマイナスイメージは、  
誰から伝えられたもの？次第に、偏見(差別意識)が知らず知らず再生される社会  
のしくみと自分の課題に気づいていく…。前半は、ドラマによる問題提起、後半は、マイナ  
スイメージが刷り込まれていく過程をドラマ部の再現と豊富な市民意識調査データから解説  
するという構成です。(2005年・カラー・38分)



米子市人権情報センター (人権政策課内)  
URL : <http://yonago-city.jp/jinken/>  
米子市東町 161-2 TEL0859-37-3183 Fax0859-37-3184